



2023年1月19日

各 位

会 社 名 株式会社LAホールディングス
代表者名 代表取締役社長 脇田 栄一
(東証グロース・コード 2986)
問合せ先 取締役 栗原 一成
電話番号 (03) 5405-7350 (代表)
(URL <https://www.lahd.co.jp/>)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年7月28日に公表した2022年12月期通期（2022年1月1日～2022年12月31日）業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年12月期通期連結業績予想の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,700	4,200	3,900	2,700	514.13
今回修正予想 (B)	18,200	4,100	3,700	3,300	622.90
増減額 (B-A)	▲4,500	▲100	▲200	600	108.77
増減率	▲19.8%	▲2.4%	▲5.1%	22.2%	21.2%
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	14,677	3,216	2,847	1,959	410.83

(注) 上記数値の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により上記予想と異なる場合があります。

2. 修正の理由

当社グループは、資金調達力の向上を背景に都心部の好立地にて大型案件の仕入れを強化し、商品の高付加価値化を追求してまいりました。

新築不動産販売部門における高付加価値戦略が奏功し、各プロジェクトの利益が想定よりも大幅に増加したことに伴い、2022年7月28日に公表いたしました通期連結業績予想の各段階利益は達成する見込みとなりました。そのため、当社グループは、新築不動産販売部門の一部プロジェクトに関してより高い利益を目指すなど、販売方針の一部見直しなどを行いました。この結果、売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。

また、営業利益及び経常利益は前回予想を僅かながら下回る見込みとなりましたが、その要因は、2022年12月30日付で簡易株式交換にて取得いたしました株式会社ファンスタイルHIDの取得関連費用の計上によるものです。他方、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益（負ののれん発生益）が見込まれることから、前回予想より20%を超えて上回る見込みとなりました。

結果、上記の通り修正を行うものであります。

以 上